

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。

当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■実施日 2017年7月10日(月) ご依頼分より

■新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
6522 5	百日咳抗体 IgA 5E101-0000-023-023	血清 0.2	S09 ↓ A00 (X)	冷蔵 (28日)	2~4	80 ※5	ELISA	8.5未満 陰性 判定基準：次頁参照	
6525 7	百日咳抗体 IgM 5E102-0000-023-023								

※5：免疫学的検査判断料

- 百日咳抗体 IgA
- 百日咳抗体 IgM

単一血清での診断補助検査として、百日咳の早期診断に貢献します。

百日咳は、主に百日咳菌の気道感染による急性呼吸器感染症であり、ワクチン接種前や未完了の乳幼児が発症した場合、重症化する傾向があります。2000年以降はワクチン効果が減弱した成人患者の報告数が増加し、乳幼児に対する感染源となっていることから、成人を含めた早期診断・治療開始が重要と考えられています。

百日咳の検査は、培養と百日咳抗体 IgGに加え、2016年11月より遺伝子検査が保険適用となっています。百日咳抗体 IgAとIgMが加わることで、早期診断への検査体制がさらに充実することとなりました。

百日咳抗体 IgAは、百日咳毒素 (PT) および繊維状赤血球凝集素 (FHA) の総IgA抗体価を測定し、百日咳抗体 IgMは、百日咳菌に対するIgM抗体価を測定いたします。IgA抗体は病日約21日、IgM抗体は病日約15日をピークに発現し、IgA抗体はIgM抗体よりも持続して検出されることが確認されています。IgAおよびIgM抗体はワクチンの影響を受けないため、これまで急性期と回復期のペア血清を必要とした抗体検査において、単一血清での診断率向上が期待されています。

▼疾患との関連

百日咳

▼関連する主な検査項目

百日咳抗体 [EIA] (PT-IgG, FHA-IgG)
百日咳菌DNA

▼検査要項

検査項目名	百日咳抗体 IgA	百日咳抗体 IgM
項目コードNo.	6522 5	6525 7
検体量	血清 0.2 mL	
容器	S09→A00 (X) ポリスピッツ	
保存方法	冷蔵保存してください	
所要日数	2~4 日	
検査方法	ELISA	
基準値	8.5未満 判定基準：下記参照	
検査実施料	80点 (「DO12」感染症免疫学的検査「12」)	
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)	
備考		

▼判定基準 百日咳抗体 IgA, 百日咳抗体 IgM

NTU値	判定
<8.5	陰性 (-)
8.5~11.5	判定保留 (±) ※
>11.5	陽性 (+)

※2~4週間後に採血した血清による再検査をお勧めいたします。

●参考文献

小児呼吸器感染症診療ガイドライン作成委員会：小児呼吸器感染症診療ガイドライン 2017(協和企画)：236~240, 2016. (臨床的意義参考文献)